

市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成24年度

千葉県四街道市

人口	90,711人(H25.3.31現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	89,426人(H25.3.31現在)	実収赤字比率	-%
面積	34.70k㎡	実収公債費比率	4.7%
歳入総額	24,843,759千円	将来負担比率	-%
歳出総額	23,196,903千円	市町村類型	H20 II-3 H21 II-3 H22 II-3
実収支	1,263,317千円	(年度毎)	H23 II-1 H24 II-1
標準財政規模	14,858,324千円		
地方債現在高	21,269,437千円		

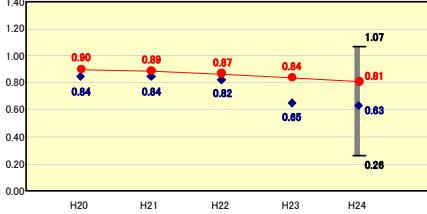


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実収公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることもある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

財政力

財政力指数 **[0.81]**

類似団体内順位 42/197 全国平均 0.49 千葉県平均 0.71

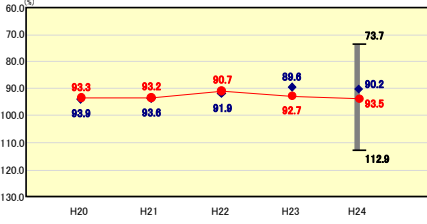


財政力指数の分析
 前年度比0.03ポイント下落については、社会福祉、高齢者福祉に関する需要が増加していることと市税のうち法人税については、若干の伸びがみられるものの固定資産税では、評価替えにより大幅な減額となったことによる。類似団体との比較においては、東京都心部への通勤圏の利便性及び政令指定都市千葉市と隣接していることもあり、給与所得者が多く、また狭い市域の住宅地に人口が集中し、行政効率が高いという特質から、平均より高くなっている。
 しかしながら、高齢化の進行及び就業人口の伸び悩みもあり、市税の大幅な増加は見込めないため、引き続き市税収納率の向上や、各種補助金等の見直しを行うなど健全な財政運営の確保に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 **[93.5%]**

類似団体内順位 151/197 全国平均 90.7 千葉県平均 91.9

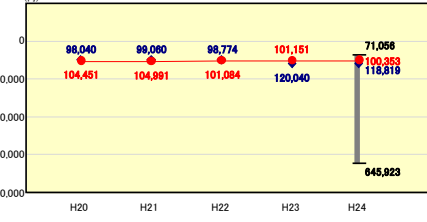


経常収支比率の分析
 人件費、扶助費及び公債費がそれぞれ増加したことから、前年度と比較し、0.8ポイント増となっており、類似団体と比べて3.3ポイント上回っている。
 人件費は、定員適正化計画による抑制もみられたものの、再任用制度導入により増加が見込まれる。
 また、扶助費は、現行の社会保障制度の拡充も予定されているが、今後も市税等の収入の大幅な増加が厳しいと予想されるため、引き続き歳入の確保と経常経費の削減に努める。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 **[100,353円]**

類似団体内順位 67/197 全国平均 116,454 千葉県平均 107,436

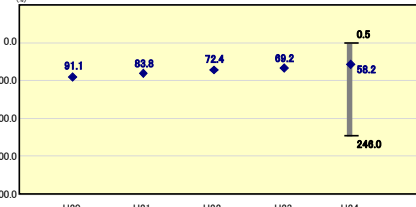


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析
 昇給制度や職員構成の適正化により、類似団体平均を下回っている。
 平成23・24年度は国家公務員の給与について臨時の特例措置により、国の水準を上回ったが、今後も適正な給与水準の確保により人件費を抑制するとともに、事務事業の見直し等を行い物件費に係るコスト削減に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 **[-%]**

類似団体内順位 1/197 全国平均 60.0 千葉県平均 68.6

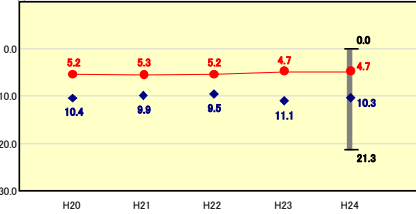


将来負担比率の分析
 地方債残高などによる将来負担すべき債務より、財政調整基金などの充当可能基金や普通交付税の増額に伴う標準財政規模の増加などによる充当可能財源が上回っているため、将来負担比率が算定されない。今後も後世への負担を少しでも軽減できるよう各種事業を精査し、現状を維持するように努める。

公債費負担の状況

実収公債費比率 **[4.7%]**

類似団体内順位 24/197 全国平均 9.2 千葉県平均 6.8

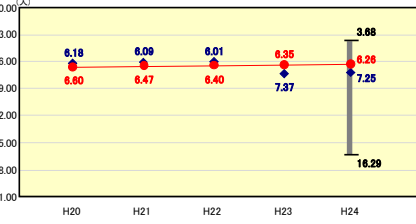


実収公債費比率の分析
 起債抑制策を講じてきたため、類似団体平均を大きく下回っている。今後も公共事業の実施にあたり、市債の有効的な活用を図りつつ、計画的な公債管理に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 **[6.26人]**

類似団体内順位 68/197 全国平均 7.00 千葉県平均 6.85

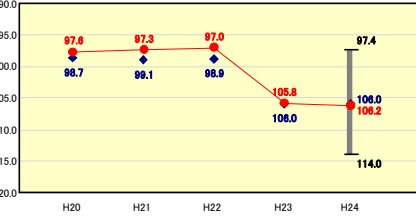


人口千人当たり職員数の分析
 定員適正化の取り組みを続けてきたため、類似団体平均より低い水準となっている。今後も第4次定員適正化計画に基づき人件費を抑制しながら、適正な定員管理に努める。

給与水準 (国との比較)

ラスパイルズ指数 **[106.2]**

類似団体内順位 108/197 全国市平均 108.6 全国町村平均 103.2



ラスパイルズ指数の分析
 昇給制度や職員構成の適正化により、全国市平均より低い水準となっている。平成23・24年度は国家公務員の給与について臨時の特例措置により、国の水準を上回った。今後も適正な給与水準の確保に努める。